

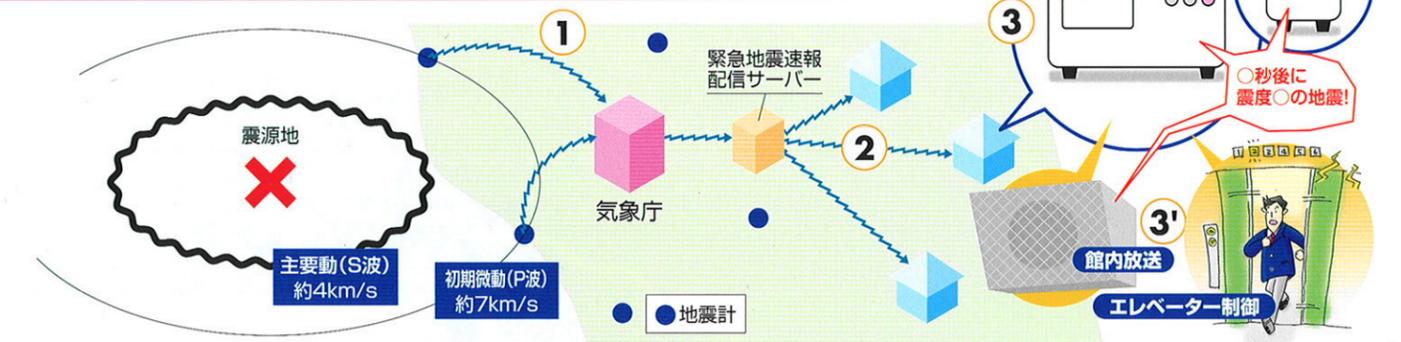
緊急地震速報とは…

地震が発生すると、まず「速度が速く、エネルギーが小さい」P波（初期微動）が先に伝わり、その後「速度が遅く、エネルギーが大きい」S波（主要動）が到達します。一般に、ヒトが「地震」と感じる強い揺れは、このS波です。

緊急地震速報は、このP波とS波の速度の差を利用して、震源地

に近い地震計でとらえたP波の観測データを解析することでS波の到達時刻や震度を推定し、可能な限り素早く、地震の発生をご利用者に文字と音声によって知らせるシステムです。これにより、どの程度の震度の地震があつたら何秒後に到達するかを事前に分かることができます。

「緊急地震速報配信サービス」の仕組み



- 1 地震発生後、全国約1,000ヶ所の観測点のうち、震源地に近い地震計から得られたP波（初期微動）の解析を受けて、気象庁が「緊急地震速報」を配信。
- 2 当社管轄の速報配信サーバーがこれを受信し、ご家庭やオフィスに設置された**緊急地震速報装置にインターネット回線を通じて震源地情報を送信。**
- 3 緊急地震速報装置が瞬時に予想震度と到達余裕秒数を算出。液晶パネルの文字と音声で「〇秒後に震度〇の地震!」とご利用者へ伝達。
- 3' 緊急地震速報装置からの制御信号により、予め接続された**外部機器（館内放送・エレベーター等）を地震波到達前に制御。**

「高度利用」は「一般利用」のテレビやラジオ・携帯電話とは違います。

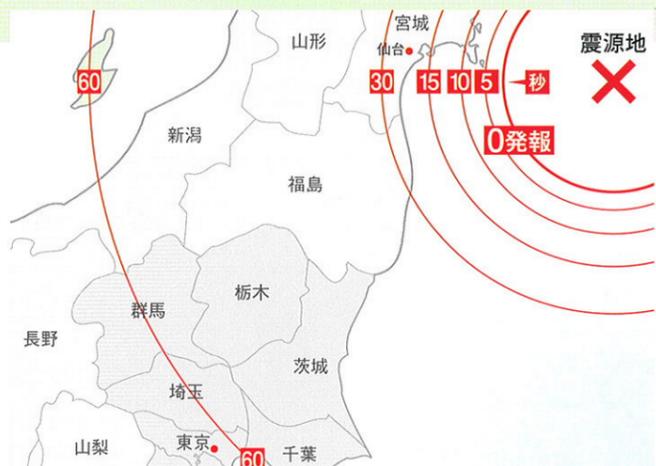
●テレビやラジオ・携帯電話を利用して速報される「一般利用」に比べ、**専用端末とインターネット回線**を利用して速報される「高度利用」は、より早く正確な情報を受信・伝達することができます。

高度利用と一般利用の違い

高度利用	項目	一般利用(テレビ・ラジオ・携帯電話など)
ピンポイント: 専用端末を設置した場所で予測	予測エリア	広範囲に予測: 全国を200エリアにわけた地域で予測
自由に設定: 発報対象は震度1から7強まで自由に設定	震度設定	固定: 震度5弱以上の地震で発報される
カウントダウンあり: 地震到達時間を予測しカウントダウン	カウントダウン	カウントダウンなし: カウントダウンは行わない
詳細: 「震度〇の揺れが〜」と具体的に表現	発報表現	あいまい: 「大きな揺れが〜」とあいまいに表現
常時受信できる: 専用端末で24時間365日受信可能	常時受信	常時受信できない: TV等の電源が入っていないと受信不可能

過去の事例 東日本大震災のケース

平成23年3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震の際、「高度利用」の緊急地震速報は、初期微動（P波）が検知された8.4秒後に発表されました。これは、主要動（S波）が太平洋岸に到達する数秒前で、**仙台では約16秒、東京では約63秒**の猶予時間がありました。

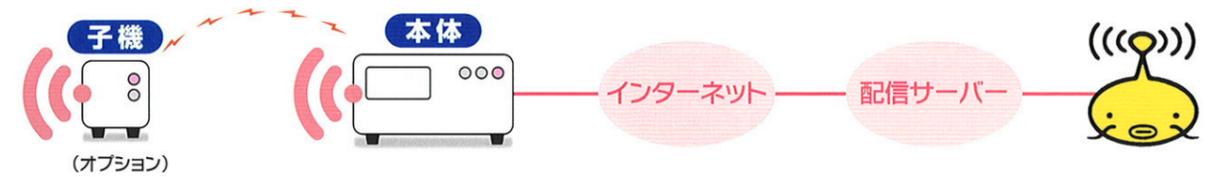


導入方法

異なる方法で、さまざまな建物に対応します。

店舗・個人事務所向け 単体で受信・発報する場合

設置方法は、本体機器をインターネットに接続するだけなので、とても簡単。本体から音声で発報し、揺れが到達するまでの時間をカウントダウンしながら伝えます。また、子機（オプション）を建物内の別の部屋に設置することで、無線接続で本体と同時に伝えることができます。



ビル・工場向け 館内放送に対応させる場合

本体機器1台にて館内放送設備に接続ができます。放送設備との音声ディレイ（遅延）はもちろん、発報の震度設定を本体自身と館内放送設備に分けることも可能です。館内放送設備と連動し発報することにより、ビルや工場等の大きな建物でも本体機器1台の設置で、大勢の人たちの安全確保に役立てることができます。



オフィス向け 社内LANに接続する場合

機器本体に固定IPアドレスを付与し、社内LANへ接続することができるため、社内ネットワーク内の機器として設置可能です。
※社内ネットワークの一部開放、固定IPアドレスのご指定及びネットワーク情報が必要となります。



地震速報だけでなく津波情報も配信開始!

従来の緊急地震速報だけでなく、津波注意報・津波警報・大津波警報の受信、発報も可能となりました。皆様の安全に向け、より充実した情報を提供します。

設置がカンタン!

本体の電源コードをAC100V電源のコンセントに差し込み、インターネットに接続されたLANケーブルをつなぐだけでカンタンに設置ができます。



- ◆常時接続（光回線、CATVまたはADSL回線）が必要となります。
- ◆ルーター機能が付いたモデムやルーターに接続してください。
- ◆LANポートの空きがない場合は、ハブを別途用意して頂き接続してください。
- ◆DHCPが標準設定になっています。（固定IPについても対応可能。但し別途設定が必要）

充実のフォロー体制で導入後も安心!

本体をご購入になった後も、ご利用の皆様へのケアサービスやバージョンアップのご連絡を行っています。機器の不具合や接続のトラブルの場合は、まずご連絡ください。安全を守る機器の「安心」もおまかせください。

BCPにお役立てください。

BCP（事業継続計画）の重要アイテムとしてご利用下さい。BCPの充実により緊急事態への対応力の向上につながります。
※BCPとはBusiness Continuity Plan（事業継続計画）の略です